近畿大学 高専新聞
発行 近畿大学工業高等専門学校
三重県名張市春日丘7番町1
電話 0595（41）0111
URL http://www.ktc.ac.jp/

好記録で日本ジュニア優勝！

陸上・十種競技　4年の川畑夏唯君

7月4、5日に長野市営陸上競技場で行われた「第31回日本ジュニア陸上競技選手権大会（混成競技）」で、十種競技に出場した本校陸上競技部の川畑夏唯君（機械システムコース4年）が見事優勝を果たしました。合計得点7179点は、日本ジュニア記録（7195点）に肉薄する好成績でした。

初日最初の種目となった100㍍で自己ベストを約コマ2秒更新して流れに乗り、砲丸投でも2位と2㍍以上の差をつけました。初日の5種目を終えた段階で13人中4位につけ、得意とする投げきり、2種目ある2日目の巻き返しを誓いました。

2日目は110㍍ハードル、円盤投、棒高跳、やり投と、4種目続けて1位に。特にやり投は、自己ベストを8メートル以上更新する68㍍81と記録を伸ばしました。最後の1500㍍を残した段階で、2位との得点差は600点以上。自己ベスト（4分48秒台）を加えて練習に励んできた川畑君。昨年末に右足のじん帯を痛めて夏前まで本格的な練習が出来ず、「6月の西日本ジュニア（4位）くらいまでは全力を出すのが怖かった」そうです。

大会を終えた川畑君は「これから先、シニアのカテゴリーに入った時、試合で自分の実力を出せるよう、これからも頑張りたい。まずは全日本インカレを目指したい」と、次なる目標を見据えていました。

【全国高専大会】野球・柔道・Sテニスが優勝

8月末から九州地方各地で開かれた「第50回全国高等専門学校体育大会」で、本校は野球（高専野球部）、ソフトテニス（男子団体、ダブルス）、柔道（男子個人）が優勝を勝ち取ることができました。

【高専野球部】
優勝　男子90㌔級　成家佑介（3年）
準優勝　男子団体
男子60㌔級　葛平大祐（5年）
同73㌔級　原浸太（4年）
同90㌔級　南和貴（5年）

【ソフトテニス部】
優勝　男子団体　優勝
男子ダブルス　優勝　加藤駿介・吉田雄飛ペア（3年）
2位　横谷陸・岡本輝ペア（3年）

【陸上競技部】
総合　2位
110㍍ハードル　2位（大会新記録）　川畑夏唯（4年）

【柔道部】
優勝　男子90㌔級　成家佑介（3年）
準優勝　男子団体
男子60㌔級　葛平大祐（5年）
同73㌔級　原浸太（4年）
同90㌔級　南和貴（5年）

高校総体 出場成績

7月28日から近畿各地で開催された「2015君が創る近畿総体（インターハイ）に、本校4つのクラブから5人が出場しました。成績は次の通りです。

【ソフトテニス】
横谷陸・岡本輝（3年）
2回戦　4・2　篠田・矢野（福岡・東福岡）
3回戦　2・4　堀口・山口（京都・立命館）

【陸上競技】
古橋慎ノ介（3年）
円盤投　42㍍69（予選1組9位＝予選敗退）

【柔道】
潮古真一朗（2年）
男子66㌔級
2回戦　合わせ技　山本（埼玉・児玉）

【空手道】
野呂明弘（3年）
男子個人組手
1回戦　0・1　肩野（岐阜・県岐阜商）

クラブ・ボランティア・学生会活動

学生の自主性向上

校長　村田圭治

爽秋の候、皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、まずは嬉しい報告をさせていただきます。7月4・5日に行われた日本ジュニア選手権混成大会（十種競技）で川畑夏唯君（機械システムコース4年）が全国優勝を果たしました。またソフトテニス部・陸上競技部（円盤投）・空手部・柔道部も、全国高校総体に出場いたしました。

さらに特筆すべきことは、学生会や女子学生の活動が活発になり、学生の自主性が高まってきていることです。

昨年度末の「学生会新聞」創刊を皮切りに、球技大会と体育祭を合体させたスポーツイベント「KUTC No.1グランプリ」を新たに企画、6月23・24日の2日間にわたって開催いたしました。ソフトボール、ドッジボール、フットサル、リレーなどの運動系競技と、エアホッケーや太鼓ゲームといった誰でも楽しめるゲーム競技から各自一つずつ選択して参加し、クラス・クラブ対抗で競い合い、例年以上に盛り上がりました。

女子学生は、高専女子の魅力を発信する「高専女子プロジェクト」を立ち上げ、女子学生の目線で本校を紹介する冊子「This is the KUTC」を制作したり、中学校の先生向けに自分たちの活動を紹介するなど、今本校で一番輝いています。こうした活動は、他の国公立高専でも広がり、中学生やその保護者を対象として、高専女子の学生生活や企業での仕事を紹介する「高専女子フォーラム in 関西」を近畿地区の国公立高専や企業と連携して開催しています。また、定期的に「高専女子交流会」を開催して情報交換を行っています。本校の女子学生は全学生のわずか5%ですが、とてもアグレッシヴです。

さて、高専は、即戦力となる中堅技術者の育成を目的に、昭和37年頃、全国に設立されましたが、時代と共にその役割も変化しています。本年5月、文科省に「高等専門学校の充実に関する調査研究協力者会議」が設置され、①高専の在り方と充実のための方策②地域・産業界との連携③国際化への対応などが議論されています。一方で、教育再生実行会議の提言を受けて、「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化」が中央教育審議会で審議されるなど、日本の高等教育・職業教育体系における高専の位置付けや高専教育が担うべき人材育成の在り方を見直す時期に来ていると感じております。

本校では、技術者教育の高度化、グローバル化に対応したカリキュラムや教育サービスをいち早く取り入れ、教育環境を益々充実させて参ります。

今後とも、ご支援ご協力よろしくお願いいたします。（平成27年7月10日）

平成28年度入試に向けての

オープンキャンパス
要事前申込
第3回：10/11(日)12(祝)
「高専名張祭を楽しもう」
第4回：11/7(土)8(日)
7日「授業・部活を体験しよう」
8日「個別相談会」

学校説明会
第2回：12/5(土)
申込不要

四日市：じばさん三重　15～17時
津：三重県教育文化会館　10～12時
伊賀：ハイトピア伊賀　10～12時
橿原：橿原文化会館　10～12時
奈良：奈良商工会議所　14時半～16時半
香芝：香芝ふたかみ文化ホール　15～17時
大阪：近畿大学会館　15～17時
和歌山：和歌山県JAビル（7月）　10～12時
和歌山ビッグ愛（12月）　10～12時
※香芝会場は12月の開催は未定。伊賀・橿原・奈良・香芝会場は奈良高専との合同開催

AK-69
SPECIAL LIVE!!
10/12 14:00～
@屋外特設ステージ
観覧無料

高専名張祭
10/10(土)11(日)12(祝)
今年のテーマ
「青春奪回!!」
10/10〈前夜祭〉
・地域団体発表
・打ち上げ花火　他
10/11
・STUDENT LIVE
・仮装コンテスト　他
10/11・12
・学生による模擬店
・クイズ&スタンプラリー
・わんぱく王国　他
高専名張祭の詳細は学生会 twitter で！ @kutc_gakuseikai

平成２８年度入学試験日程

入試種別	出願開始日	出願締切日	入学試験日	合格発表日	入学手続期間
推薦入試（専願／A日程）※	1/8（金）	1/15（金）	1/19（火）	1/23（土）	1/23(土)～2/1(月)
一般入試（専願・併願／B日程）	1/20（水）	1/25（月）	1/28（木）	2/3（水）	専願：2/3(水)～2/12(金) 併願：2/3(水)～3/19(土)
自己推薦入試（専願／C日程）	2/15（月）	2/19（金）	2/22（月）	2/27（土）	2/27(土)～3/7(月)

※推薦入試……特進推薦（特別進学コース対象）、学校長推薦（一般コース対象）、一般公募推薦（同）

近大高専はどんな学校？目指す進路は？

1年生・編入生にインタビュー

近大高専に今春入学・編入学した学生たちに、学校の特徴や入学してみての印象、それぞれが目指す職業や進路についてインタビューしました。

野球と勉強を両立

1年　山川太嗣

勉強はもちろん、小学校の時から続けている野球との両立を目指して近大高専を選びました。特別進学コースでの学習量や進度は簡単ではありませんが、勉強と部活動をどちらも一生懸命頑張ることを意識できています。小さいころから宇宙のことに興味があります。将来は宇宙工学に関わる進路も一つの選択肢として、研究に携る仕事ができればと考えています。野球部での目標は、甲子園に出場して勝つことです。（名張市立赤目中学校出身）

選択肢見つけたい

1年　山中　慧

数学が好きで、専門的な勉強ができる地元の近大高専を目指しました。クラブ活動が盛んな学校なので、どちらもしっかり両立していくのは大変ですが、小学校から続けているサッカーを頑張っています。

勉強では大学進学を目指して、より多くの進路の選択肢を見つけられるよういろいろなことに挑戦したいです。（名張市立赤目中学校出身）

頼りになる先生

4年　岩本由香

建築士になるという夢のため、中学の時から高専への進学を希望していました。近大高専に決めたのはオープンキャンパスの時。丁寧に質問に答えてくださり、編入試験の不安も解消してくれた先生方がとても頼りになりました。

女子学生は少ないですが、女子が安心して学校生活を送れる環境があります。学生会活動では、今年初めて開催した「KUTC No.1グランプリ」など、目新しい企画も採り入れ、学校を盛り上げていきたいです。（都市環境コース、大阪・都島工高出身）

サッカーでは高校選手権に出場することを目標に、練習に取り組み続けます。（名張市立名張中学校出身）

就職の幅広がる

4年　立花明子

知り、就職の幅を広げたいと、工業高校の機械科から編入しました。昔から車や電車、飛行機など、乗り物のエンジン・動力に興味があり、将来は機械系の整備・生産に携わる仕事がしたいと思っています。

4月からは寮生活も始まりました。先輩後輩の垣根があまり無く、まとまりのある近大高専の雰囲気が好きです。また、10月にある学校の一大イベント「高専名張祭」を成功させるために頑張りたいです。（機械システムコース、和歌山・紀北工高出身）

進路選択の際に友人から近大高専の存在をみに刺激を受け、何かやってみたいと、担当する本田康子准教授とともに話し合ってきた5人は昨年、初めての冊子を編集。その内容を基に、「高専女子の日常をそのまま表し、中学生の自分たちが見たら興味を持てるように」と、文字フォントや色使いを工夫し、写真を数多く使って仕上げました。A5版14ページの冊子では、学校の基礎情報や学年ごとの授業内容、学内スケジュール、制服、学食や校内施設の紹介などを掲載しています。

「女子プロジェクトの活動を通じて多くの人と関わり、度胸や礼儀などを身につけることができました」と話す5人。藤田さんは「学校のことや私たちの取り組みを、中学生を始め、いろんな人に知ってもらいたいです」と話していました。冊子は今後も内容を充実させ、より女子学生たちの日常を伝えられるよう改訂していく予定です。

学校の魅力向上&発信へ

県の補助事業が採択

三重県はこのほど、県内の高等教育機関が行う学生確保、学生の県内就職、地域の課題解決に向けた事業支援を行う「高等教育機関魅力向上支援補助金」を創設し、本校と三重大学、高田短期大学の3校が事業採択を受けました。

本校では「学生と取り組む魅力向上・発信事業」と題し、県や名張市との協働で、地域の産業・社会・文化スポーツに貢献できる人材の育成・確保を目的に、学生の確保と学生の県内定住者増を目指します。

主な事業計画として、学校の魅力発信と広報力を強化するため、中学生向け「次世代科学者育成講座」の開講、"理系女子"の生活を発信する「リケジョ冊子」の制作、SNSとITを活用したプロモーションプロジェクトなどを実施していきます。

他にも、「近大高専ものづくり工房」を開設し、地元企業との共同研究やインターンシップを促進。また、「特色ある教育サービスで」地域を志向したグローバル人材を育成し、優秀な人材を県内に就職させる取り組みを進めていく他、地域貢献を目的とした「近大高専アカデミー」を設立し、学生と地域が協働する社会参画の仕組みづくりを構築していきます。

今春の就職・進学状況

堅調な地元就職者 移転で学校も飛躍

昨年度状況、つまり平成27年4月社・進学の決定状況は、景気回復の後押しもあり堅調に推移しました。就職・進学希望者のおよそ70%が就職に、30%が進学となりました。

求人倍率も9倍、求人を頂いた会社数も500社以上を記録しました。名張伊賀上野地域に就職した学生はおよそ10人程度で、就職者の15%に相当しています。名張伊賀上野地域は工場も多く、近畿大学高専がこの地に移転して5年目で、その間も地元就職者は15%程度で推移しています。名張に移転する以前では、地元企業が極めてない土地柄でしたから、5年間近畿大学高専で学んで地元に貢献出来る機会が無く、多くの学生が関西・中部・関東方面に就職してしまったことを考えると、名張移転で近畿大学高専にとって大きな飛躍の機会を得たことになります。

工場勤務希望が増

就職先については、エネルギー・交通・インフラ設備・保守メンテナンス関連の会社に就職する学生が多い傾向でしたが、名張移転後は工場勤務を希望する学生も増えてきています。

進学については、昨年度も進学希望者全員が進学することができました。本校の専攻科に進学した学生を始めとして、国立大学には、高専本科卒業生の大学として設立された豊橋技術科学大学と長岡技術科学大学や、金沢大学、岐阜大学、和歌山大学、佐賀大学に編入学しています。もちろん近畿大学へは、建築学部と生物理工学部に進学することができました。これ以外にも、立命館大学にも編入学できました。

本年度、平成28年4月入社の採用については、8月1日以降に選考開始となり、昨年の4月開始より4か月早くなり、倍率も解消してくれた先生方がとても頼りになりました。

女子学生は少ないですが、女子が安心して学校生活を送れる環境があります。学生会活動では、今年初めて開催した「KUTC No.1グランプリ」など、目新しい企画も採り入れ、学校を盛り上げていきたいです。（都市環境コース、大阪・都島工高出身）

「女子の目線で」紹介冊子が完成

本校3、4年の女子学生5人が、女子の目線で学校を紹介する小冊子「This is the KUTC」をこのほど製作しました。これから受験を考える中学生に向けた本校のPRに一役買ってくれます。

メンバーは、4年の藤田紗季さん、杉本安輝さん、藤川詩織さん、3年の梶原瑠奈さん、河村英里香さん。5人は本校「高専女子プロジェクト」のメンバーとして、昨年1月以降、学生へのアンケート調査、オープンキャンパスでの学校紹介や女子学生相談会など、さまざまな活動に取り組み、「高専女子フォーラム in 関西」（近畿地区7高専が主催）にも参加しました。

他校の活発な取り組みに刺激を受け、何かやってみたいと、担当子准教授と話し合ってきた5人は昨年、初めての冊子を編集。その内容を基に、「高専女子の日常をそのまま表し、中学生の自分たちが見たら興味を持てるように」と、文字フォントや色使いを工夫し、写真を数多く使って仕上げました。A5版14ページの冊子では、学校の基礎情報や学年ごとの授業内容、学内スケジュール、制服、学食や校内施設の紹介などを掲載しています。

「女子プロジェクトの活動を通じて多くの人と関わり、度胸や礼儀などを身につけることができました」と話す5人。藤田さんは「学校のことや私たちの取り組みを、中学生を始め、いろんな人に知ってもらいたいです」と話していました。冊子は今後も内容を充実させ、より女子学生たちの日常を伝えられるよう改訂していく予定です。

初開催！ No.1グランプリ

従来の体育祭と球技大会を合体させ、運動競技だけでなく文科系の競技も盛り込み、全学生・教職員が参加する「KUTC No.1グランプリ」を6月23日から3日間開催。随所で白熱した勝負が繰り広げられました。

科入学試験や国立大学歌山大学に合格しています。7月からは専攻科入学一般試験が始まります。

「技術身につけ日本を豊かに」

4/8　入学式

4月8日、平成27年度の入学式があり、本科・専攻科の入学生と編入生計200人が、それぞれの決意を胸に新たなスタートを切りました。

式の冒頭、村田校長は「やらされることは苦しいが、進んでやることは楽しい。将来やりたいことを思い描きながら、在学中に技術力や学力、体力を養ってほしい。近大高専というブランドを皆さんが作り上げていってもらいたい」と新入生たちに式辞を送りました。

本科新入生代表の山中慧君＝写真＝は「真に『人の役に立つ』とはどういうことかを考え、専門技術を身につけて力を発揮し、日本を豊かにしていきたい」と誓いの言葉を述べました。

「技術者の努力で明るい未来築く」

3/14　卒業式

3月14日に卒業証書・修了証書授与式を挙行し、専攻科・3年修了生含む114人が新たな決意を胸に学び舎を巣立ちました。各コースの代表者に証書を手渡した村田校長は「情報技術を適正に使いこなし、語学力を身につけ、世界が求める新しい製品・技術を生み出し、子や孫の世代により繁栄した日本を残してくれることを祈ります」と祝辞を贈りました。

卒業生代表の徳本望未さんは「将来への希望が持てない時代だからこそ、技術者の努力で明るい未来を築いていく必要があります。どんな変化にも対応し、本校で得た技術や知識を生かし、明るい未来を作っていくよう全力を尽くします」と力強く語りました。

市民公開講座

▽10月17日（土）
「がんばることの意義」
千葉すずさん（元競泳日本代表、アトランタ・パンパシフィック選手権金メダリスト、日本選手権3冠）
▽11月7日（土）剣道と私の人生（仮題）
石田健一さん（剣道範八段、大阪府警剣道名誉師範、大阪歯科大学剣道師範、大阪市立修道館講師）

開始は両日とも午後1時半。参加無料。市民公開講座の参加申し込みは本校事務部へ。

本校の最新情報はホームページ http://www.ktc.ac.jp/ をご覧ください

近畿大学高専 検索